

国際学会（14th International Conference on Environmental Ergonomics; ICEE）活動報告書

I. 学会概要

1984年に始まり、今大会まで続いている学会。環境生理学と、人間工学を専門領域とする研究者を中心に、開催される。

II. 開催概要

共同主催：Evelpidon Hellenic Military University, Greece

Aristotle University of Thessaloniki, Greece

開催場所：Nafplio, Greece

日時：平成23年7月10日－15日

筑波大学発表者

1)辻文 博士後期課程 人間総合科学研究科 体育学専攻3年 運動生理学西保研究室

セッション名：Thermal Stress and Exercise (oral 発表)

発表演題：Effect of pre-exercise core temperature on circadian variation in hyperthermic hyperventilation during exercise

2)渡邊和仁 博士後期課程 人間総合科学研究科 体育学専攻1年 運動生理学西保研究室

セッション名：Special Topics (oral 発表)

発表演題：Spontaneous baroreflex control of heart rate during graded activation of the muscle metaboreflex in humans

3)杉原輝 博士前期課程 人間総合科学研究科 体育学専攻2年 運動生理学西保研究室

セッション名：Special Topics (oral 発表)

発表演題：Hypervolemia from fluid ingestion at rest: effects of sodium and glucose

4)佐々木洋輔 博士前期課程 人間総合科学研究科 体育学専攻1年 運動生理学西保研究室

セッション名：Exercise and Special Topics of Environmental Ergonomics (poster 発表)

発表演題：Effect of additional warm-up on performance and physiological responses during 2-min maximal exercise

III. 大会概要

本大会は、比較的小さめのアットホームな会場で行われたため、学生もその分野の重鎮の先生方も、フランクに活発なディスカッションをすることができた。また、学会の運営時

間外でも、昼食休憩中などにテーブルを囲んだディスカッションが多く行われており、1日1日がとても充実している学会であった。

上記の各人の発表では、杉原輝が YIA (Young Investigators Award) オーラル部門 第3位の賞を受賞したことをはじめ、オーラル発表でもポスター発表でも、発表内容に関する強い興味とそれに対する活発なディスカッション、また、高い評価を得ることができた。本大会を通して、国際学会で高い評価を頂いたことは、自分たちの研究活動への自信と活力につながった。また、重鎮の先生方との密なディスカッションや他の研究者の方々の発表は、今後の研究活動につながる、非常に有意義なものとなった。

